



6月定例会 都会の樹木ウォッチング 林試の森

♥ 主な内容

- ・活動カレンダー
- ・部会・PT等の活動予定と記録
- ・おしらせ（省エネポイント）

今後の活動カレンダー

7 月		8 月	
7/4(土)	定例会 玉川上水歩き	8/2(日)	エコアップ探検隊 夏編
7/21(火)	「運営委員会」(太子堂区民センター第2)	8/8(土)	夜の蘆花公園探検隊
		8/18(火)	「運営委員会」(未定)

7月の定例会 ご案内 (水研究部会 担当)

開催日 7月4日(土) 10時～15時 (弁当持参願います)。小雨決行
集合 JR青梅線 羽村駅西口 10時 ◎解散は拝島駅(JR, 西武線)

※交通手段例 ①三軒茶屋 0843→渋谷→新宿(JR山手線・中央線・青梅線)→羽村 0956
 ②成城学園前 0847→登戸→立川→羽村 0956
 ③千歳烏山 0846→分倍河原→立川→羽村 0956



テーマ 【 玉川上水歩き 】

羽村駅から羽村取水堰、迄歩き、水神社、陣屋跡、三つの水門、玉川兄弟像等を見学します。その後玉川上水に沿って拝島迄歩きます。途中田村酒造では見学をし、熊川分水を眺め、水喰土公園に立ち寄ります。江戸時代(1653年)に43kmの区間を僅か8ヶ月で開削した玉川上水は江戸の水供給に多大な貢献をしました。高低差も有りませんので散歩気分を楽しみませんか。参加される方は事前に連絡頂ければ幸いです。当日飛び入りも歓迎です。

連絡先：高橋健 (03-6753-3089) メール：akiko52@tune.ocn.ne.jp
 岡村 (080-4185-6101)

エコアップ探検隊 夏編 予告 • • (担当・エコアップ探検隊)

「エコアップ探検隊・夏編」を、次の要領で開催します。開催要領等は追ってお知らせします。

- 下見：7/26 (日)
- 本番：8/2 (日) 17:45~20:30 (雨天中止)
- テーマ：セミの羽化とカラスウリの花の観察
- 場所：玉川区民会館 ⇒ 等々力溪谷

外部イベントへの参画

「夏休み多摩川教室」に環境学習会としてブース出展 (水研究部会)

期間：7月22日(水)、23日(木) 場所：多摩川河川敷(二子新地)

目的：CODパックテストによる水質測定、子供たちの測定指導

※別途皆さんの応援をお願いする予定です



前月号以降の「活動報告」 研究部会・プロジェクトの記録

1、6月定例会 都会の樹木ウォッチング (緑研究部会担当)

6/6 薄曇りだが初夏の天気にも恵まれ、途中の小山台高校のユリノキ、ニセアカシアなどを手始めに林試の森公園の都会の樹木をウォッチングしました。ケヤキとその仲間のムクノキ、エノキの違い。有用材のスギやヒノキ、野生種のヤマザクラと里桜のソメイヨシノ、マツタケのアカマツと白砂青松のクロマツ、明治の海軍を支えた重要財源であった樟脳の木クスノキ、落葉のナラ(オーク)と常緑のカシのどんぐりの木、里山の木コナラとクヌギ、世界一高くなる山火事とともに生きてきた北米西海岸のセンペルセコイア等々。新会員のご主人も参加するなど、昨年とは参加者も新たに新鮮な目で街中の樹木に親しんで頂きました。参加者 13 名(部会以外 6 名)。 (杉山)

2、6月の公開部会 都水道歴史館の見学と本郷地区文学散歩(文京ふるさと歴史館他) (水部会)

6月7日(日) 9:30~13:00 御茶ノ水駅にて集合。まず「都水道歴史館」にて玉川上水の歴史、江戸時代の水事情をじっくり勉強した。その後、隣接の本郷給水所公苑にて神田上水の白堀部分の石碑を見学後、本郷地区に残る文豪の足跡を辿ってみた。出発点は「文京ふるさと歴史館」でここから坪内逍遙旧居跡、菊坂、宮沢賢治旧居跡、樋口一葉ゆかりの伊勢屋質店、長屋、菊富士ホテル跡、啄木ゆかりの赤心館、本妙寺跡、一葉桜木の宿跡、かねやすを見て回った。足跡を辿ることで街並みの情緒も堪能した。参加者は 10 名(水部会以外 2 名)。暑い中お疲れ様でした。 (岡村)

3、対外支援活動 ヤゴ救出作戦

①武蔵丘小学校

5月30日(土) 午後、膝下位まで水が抜かれたプールで、ヤゴ救出作戦を行った。

参加者は、学習会が行ったヤゴについてのクイズ及び「ギンヤンマの一生」の紙芝居みてからプールに入り、ヤゴ救いを行った。例年より少ない参加者であったが、親子ともども、楽しんでくれたようです。ヤゴの大半はアキアカネ系で、ネイチャースコープでの観察では保護者も含め感動があったようだ。学習会から 4 名が支援のため参加した。 (丸)

②九品仏小学校

3年生の総合的学習の時間「ヤゴ救出作戦」の学習支援は、毎年小学校から学習会に協力依頼されているもの。6月2日(火)午前中に実施。はじめにパワーポイントを使いヤゴからトンボへの生育過程、トンボの種類、プールの中の生き物の循環、何故ヤゴを救うのかのお話。続いてプールでヤゴ救出。子供達は腰まで濡れながら喜々としてヤゴを掬い、種類調べ、観察、泥の中のアカムシやプランクトンの顕微鏡観察を行い、身の周りの自然の不思議・命の大切さを体感する体験授業となりました。今年はやゴの数が少なく、事前に武蔵丘小学校のヤゴや微生物を採集して子供たちに観察提供する準備も行いました。会員5名が支援に参加。(杉山)

4、研究部会・プロジェクトの記録

部会・PT	活 動 内 容 (5/19 ~ 6/16)
食と農部会	6/13(土) 部会を開催。環境入門講座の内容について検討を開始。本年度のテーマの内「遺伝子組換え」&「植物工場」について、調査内容を発表した。
まち部会	5/23 部会 ①まち部会担当定例会(10月)「東京農大総合研究所エコテクゾーン」見学の打合せ ②2015年度環境入門講座について話し合い ③「震災対策用井戸」について報告 次回の部会：6/27 10時~12時、玉川ボランティアビューロー
緑部会	6/2・6/15・(7/7・7/21 予定) フェノロジー調査&コドラート調査、 6/6 定例会「樹木ウォッチング」実施(林試の森)、7/13 緑部会(入門講座内容・下半期の活動計画・フェノロジー調査のまとめ方等について)
水部会	5/17 10-12 時部会、於砧図書館。①玉川上水歩き(7/4 定例会予定) ②夏休み多摩川教室への出展。場所：多摩川河川敷(川崎市二子新地)。実行委員会に向けて。③研究テーマ：井戸水の安全性についての関連情報。④6/7 都水道歴史館と本郷地区文学散歩について
地球環境部会	6/16(火) 18時30分~部会、於砧出張所活動フロア ①IPCC 第5次評価報告書の、第2作業部会報告『気候変動2014-影響・適応・脆弱性』B章について読み合わせと、②9月定例会について施設見学の企画検討。
学校支援	5月15日以降6月12日までで「6回4校延べ41名の参加」で学校支援を行った。 (内3回2校延べ人数19人は大田区の学校)

5、外部イベントの参加報告

・「ジオパーク記念行事として等々力溪谷ウォーク」

5月10日、ジオパークの記念日の行事として、等々力溪谷を歩いて、地質学的な説明を聞くという催しがあった。学習会からは3名参加を含めて、参加人数は30名。溪谷の地層については、今まで言葉だけは知っていたことが、実際にどういう時間スケールとか地域的広がり、箱根火山、富士火山との関係などについて現地を見ながら理解できたことは、有難いことだった。都内でもこのように地層の露頭が見られることが貴重だということについても、認識を新たにした。今回の説明会には地学の専門家だけでなく、古代史の専門家も同行されたため、溪谷内の横穴墳墓の中の地層的特徴が時代を考証する尺度になっていたという説明など、学際的な話が面白かった。(高橋裕二)



「おしらせ・・・」



eco

◇ 「省エネ」をして、ポイントをゲットしよう！

地球温暖化防止の観点から「省エネ」に取り組もうという、世田谷区の施策です。

（6/1付区報に「省エネポイント事業」についての記事が掲載されました。）

この機会に、我々も今一度「省エネ」に取り組んでみませんか。

この事業には、次の4つのコースがあります。参加登録は7月15日までです。

- ① 夏の省エネ『住まい』コース
- ② 夏の省エネ『グループ活動』コース
- ③ 住まいの『省エネ診断受診コース』
- ④ 「省エネ・創エネ機器設置実感レポート」コース

※ 詳細は添付のチラシ『「省エネポイント事業」がはじまります』をご覧ください。

※ 以下のHPや「世田谷区 エコポイント」でもネット検索できます。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/126/1898/1899/824/d00139623.html>

個人で参加できる「①夏の省エネ『住まい』コース」には、多くの会員で参加しましょう。
募集数に限りがありますので、まずは早めに参加登録申請を行ってください。

世田谷環境学習会だより No.42 2015年6月16日発行（毎月発行）

発行者：世田谷環境学習会 発行人：丸 征司 編集人：杉山 顕一
